

国際日本研究専攻後期

専攻共通科目(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
02DMA02	プロジェクト演習4	2	1.0	2	通年	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(後期)	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	対面(オンライン併用型)

専門科目(ディシプリン共通科目)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
02DMC01	リサーチ・プログラム開発9	2	2.0	1				自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が博士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立って、指導教員の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。レポートは「リサーチ・プログラム開発1.2.3.4」とは別のものではない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。偶数年開講。 2024年度より2年おきに開講。 0BBE000と同一。 2025年度開講せず。
02DMC02	リサーチ・プログラム開発10	2	2.0	1				自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が修士博士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立って、指導教員の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1.2.3.4.5」とは別のものではない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。偶数年開講。 2024年度より2年おきに開講。 0BBE001と同一。 2025年度開講せず。

02DMC03	リサーチ・プログラム開発11	2	2.0	2	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(後期)	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が博士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立って、指導教員の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がいる。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1.2.3.4.5.6」とは別のものでなくてはならない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。奇数年開講。 OBBE002と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
02DMC04	リサーチ・プログラム開発12	2	2.0	2	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(後期)	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が博士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がいる。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1.2.3.4.5.6.7」とは別のものでなくてはならない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。奇数年開講。 OBBE003と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)

専門科目(リサーチ・プログラム開発)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DMD03	リサーチ・プログラム特別開発3	2	1.0	1-3	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(後期)	本科目は英語等外国語による優秀な学術業績の成果産出を促す目的から開講するものであり、学生は指導教員および専攻長に履修の意思を示し、専攻教育会議において履修の適切性が審議・承認された場合において、その履修が認められる。 学生は自らの研究テーマに関して、専攻長、指導教員、学位プログラム代表者等の指示する教材、文献、各種資料などを広く学習しつつ、海外の関連学会・シンポジウム・学術会議・公開講座等に参加のうえ発表をおこない、その発表詳細および学習成果について総括レポートを作成する。レポートは通常10回分の講義および予復習、外国語運用能力の向上に資する程度の質と量を必要とする。 学生は総括レポートを必ず指導教員および専攻長に報告し、そのレポートに記載された研究の進捗状況および学習内容は専攻において審査される。審査の結果「可」の判断が与えられた場合、1.0単位が付与される。	申請・許可が必要(特別演習) 対面(オンライン併用型)

02DMD04	リサーチ・プログラム 特別開発4	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談	国際日本研究学位 プログラム全教員 (後期)	<p>本科目は英語等外国語による優秀な学術業績の成果産出を促す目的から開講するものであり、学生は指導教員および専攻長に履修の意思を示し、専攻教育会議において履修の適切性が審議・承認された場合において、その履修が認められる。</p> <p>学生は自らの研究テーマに関して、専攻長、指導教員、学位プログラム代表者等の指示する教材、文献、各種資料などを広く学習しつつ、海外の関連学会・シンポジウム・学術会議・公開講座等に参加のうえ発表をおこない、その発表詳細および学習成果について総括レポートを作成する。レポートは通常10回分の講義および予復習、外国語運用能力の向上に資する程度の質と量を必要とする。</p> <p>学生は総括レポートを必ず指導教員および専攻長に報告し、そのレポートに記載された研究の進捗状況および学習内容は専攻において審査される。審査の結果「可」の判断が与えられた場合、1.0単位が付与される。</p>	申請・許可が必要(特別演習) 対面(オンライン併用型)
02DMD05	リサーチ・プログラム 開発基礎3	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談	国際日本研究学位 プログラム全教員 (後期)	<p>構成教員や主指導教員(副指導を含む)の協議をふまえ、国内外学会、シンポジウム、学術会議、公開講座などの研究教育に関連する活動を企画運営または参画することを通じて、資料調査・サーベイ等による研究能力にとどまらず、運営事務や企画調整等のマネジメントおよびコミュニケーションといった実践能力の涵養を併せて図ることを目的とする。履修者は、その活動および成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録し、活動終了後に学位プログラムリーダーへ提出する。提出された「ノート」は教育会議に諮って審査し、合格が認められた者に1.0単位を付与する。</p> <p>本科目を適用できる活動は、原則として構成教員や主指導教員(副指導を含む)が教育会議に付議して認められた企画・活動に限るものとし、履修者はその活動の準備から終了まで積極的に参画すること。また、履修者の「ノート」は、通常10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当し、自らの研究活動に寄与する質量であることが望ましい。</p> <p>なお、早期修了希望・早期修了希望以外のいずれの学生であっても、教育会議の審議の結果、認められれば履修することができる。</p>	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
02DMD06	リサーチ・プログラム 開発基礎4	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談	国際日本研究学位 プログラム全教員 (後期)	<p>構成教員や主指導教員(副指導を含む)の協議をふまえ、国内外学会、シンポジウム、学術会議、公開講座などの研究教育に関連する活動を企画運営または参画することを通じて、資料調査・サーベイ等による研究能力にとどまらず、運営事務や企画調整等のマネジメントおよびコミュニケーションといった実践能力の涵養を併せて図ることを目的とする。履修者は、その活動および成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録し、活動終了後に学位プログラムリーダーへ提出する。提出された「ノート」は教育会議に諮って審査し、合格が認められた者に1.0単位を付与する。</p> <p>本科目を適用できる活動は、原則として構成教員や主指導教員(副指導を含む)が教育会議に付議して認められた企画・活動に限るものとし、履修者はその活動の準備から終了まで積極的に参画すること。また、履修者の「ノート」は、通常10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当し、自らの研究活動に寄与する質量であることが望ましい。</p> <p>なお、早期修了希望・早期修了希望以外のいずれの学生であっても、教育会議の審議の結果、認められれば履修することができる。</p>	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)

専門科目(国際日本複合研究領域学位プログラム)(平成27年度以降入学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DMP15	政治とインターネット 3A	1	1.0	1 - 3	春AB	応談	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)

02DMP16	政治とインターネット 3B	1	1.0	1 - 3	秋AB	応談	川崎 レスリー タック	This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (02DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面(オンライン併用 型)
---------	------------------	---	-----	----------	-----	----	----------------	--	---